

住宅・都市整備公団関西支社長殿

茨木北部丘陵地域の自然を守る市民会議

代表委員 竹中順三

(茨木市駅前四丁目3番26号プレゲート茨木3階)

(☎0726-24-1144)

国際文化公園都市特定土地区画整理事業計画の抜本的見直し

活断層を含む地質関連資料と造成・防災計画の情報公開

および詳細調査実施と耐震性の強化を求める要望書

住専に代表されるように今、いわゆるバブル経済の破綻のツケが国民に大きくしわよせされようとしています。本計画もバブル経済の真っ只中に策定されたもので、このまま強行されるならば破綻は必至であります。さらに関連公共・公益施設整備で莫大な財政負担を負う大阪府も茨木市、箕面市も一層厳しい財政状況に追いやられることとなります。ところが貴公団はこうした情勢にもかかわらず、「見直し」の検討すらしない状況にあると聞いています。

一方直下型地震の恐怖を現実のものにした阪神大震災の被害状況は我々の今日までの経験を根底から覆すものとなりましたが、国際文化公園都市計画では今回の地震の原因となった活断層に連なる有馬一高槻構造線が存在し、計画地中央を横切って同じ断層系の馬場断層が存在していますが、この馬場断層に沿って、都市計画道路とその道路上に主要交通機関であるモノレールが計画されています。将来、有馬・高槻構造線や馬場断層を震源とする直下型地震が発生した場合、大規模に公共施設・ライフライン・盛土地が崩壊し、周辺住民はもとより多くの府民、市民に財政負担も含めて多大な被害と損失を与えることとなります。

しかるに貴公団は「馬場断層については、その最終活動時期は約7万年前と推定され、それ以後は活動を停止し、現在は終息している」として、その工学的配慮の必要性を否定するとともに、その調査結果や科学的根拠さえも明らかにしていません。

よって、「市民会議」では、こうした背景と理由から、貴公団が調査・作成された『平成4年度国際文化公園都市にかかる造成及び防災計画検討調査報告書』の全面公開を求めて大阪府と茨木市に情報公開請求を行なっているところであります。ところが大阪府、茨木市とも「公団が著作権などを根拠に、公開してはならないとしている」として公開を拒否しています。

そこで、以下の項目について、要望いたしますので、ご検討のうえ、実施されるようもとめます。

記

- ①国際文化公園都市特定土地区画整理事業計画については経済情勢の変化と大震災の経験をふまえて抜本的に再検討すること。
- ②貴公団が調査・作成された『平成4年度国際文化公園都市にかかる造成及び防災計画検討調査報告書』など国際文化公園都市に関連する活断層を含む地質資料を中心とした情報については、原則として全面公開すること。
- ③国際文化公園都市計画に関係する有馬一高槻構造線、馬場断層をはじめ関連する活断層および広域的な地殻変動についての詳細な調査、動的解析法による耐震計算などを実施するとともに、耐震性の抜本的強化をすすめること。

以 上